議会だより Vol.98

伊那市議会事務局
TEL0265-96-8149
FAX0265-76-9117
E-mail gkj@inacity.jp

伊那市議会12月定例会では23議案と陳情1件・議員提出議案2件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案を紹介します。

全会一致で可決された議案

《初日即決議案》

（条例案件）

- ◆伊那市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- ◆伊那市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

《委員会付託議案》

（一般案件）

- ◆請負契約の締結
  （市営住宅若宮団地A棟建築工事）
- ◆請負契約の変更
  （竜北地域交流センター（仮称）建設建築工事内容の一部変更）
- ◆請負契約の変更
  （環状南線道路整備工事（小黒西2工区）内容の一部変更）
- ◆字の区域の変更
- ◆市道路線の変更及び認定
  （市道環状南線整備に伴い路線を整理するため）
- ◆伊那中央行政組合規約の変更
  （伊那中央衛生センターの経費負担割合の改正に伴う変更）
- ◆公の施設の指定管理者の指定
- ◆福祉まちづくりセンターの指定管理者の指定の期間の変更

（条例案件）

- ◆伊那市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ◆伊那市企業立地の促進等のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例
- ◆伊那市税外収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例
- ◆伊那市福祉まちづくりセンター条例の全部を改正する条例
- ◆伊那市農業公園条例の一部を改正する条例

（予算案件）

- ◆令和2年度伊那市一般会計第8回補正予算
- ◆令和2年度伊那市国民健康保険直営診療所特別会計第1回補正予算
- ◆令和2年度伊那市介護保険特別会計第2回補正予算
- ◆令和2年度伊那市営駐車場事業特別会計第1回補正予算
- ◆令和2年度伊那市公有財産管理活用事業特別会計第2回補正予算
- ◆令和2年度伊那市一般会計第9回補正予算

（請願・陳情）

- ◆安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情（陳情）

（議員提出議案）

- ◆安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出

賛否の分かれた議案等（審議結果と各議員の賛否一覧）

○…議案、請願・陳情に賛成　×…反対　☆…趣旨採択
△…一部採択　なお、原則として議長は採決に加わりません

区分	件名	委員会結果	本会議結果	池上直彦	小林眞由美	田畑正敏	馬場毅	原一馬	松澤嘉	三澤俊明	宮原英幸	白鳥敏明	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	唐澤稔	宮島良夫	飯島光豊	黒河内浩	柴満喜夫	前田久子	柳川広美	飯島尚幸	飯島進（議長）	備考
議案（予算）	◆令和2年度伊那市一般会計第7回補正予算	付託省略	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○		可決
議案（予算）	◆令和2年度伊那市公有財産管理活用事業特別会計第3回補正予算	可決	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○		可決
議案提出	◆新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急決議	付託省略	否決	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	○	×		可決

12月定例市議会

一般質問から

伊那市議会12月定例会の一般質問は、12月8日、9日、10日の3日間にわたって行われ、20人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。

令和3年度予算編成について

問 **飯島尚幸議員** 一般会計で約4億円超の財源不足が見込まれ、本格的な地方交付税の減額が予想されるなど、来年度の財政措置は一段と厳しさを増す。予算編成、市運営の舵取りの決意、意気込みは。

答 **市長** 新型コロナは第3波といわれる感染拡大が到来し、財政状況は予断を許さない状況。合併優遇措置も令和3年度におおむね終了する。歳入に見合った規模の予算とし、選択と集中に徹し健全財政を維持する。

行政手続きにおける押印廃止と書面主義の見直し等について

問 **飯島尚幸議員** 行政手続きにおける押印廃止推進、また文書等の性別欄廃止の考えについて。

答 **市長** 行政手続きの押印廃止は、業務や添付書類の簡素化、効率化など積極的に取り組むことが望ましい。性的少数者への差別、偏見は解消されるべき人権問題の一つと認識している。

企画部長 市独自の申請書の様式で性別欄の有無、廃止について調査した。全95件のうち6件を廃止。更に39件についても本年度中に性別欄をなくす方向で手続きを進める。

コロナウイルスについて

問 **唐澤稔議員** 飲食関係の経営を存続させる為の資金導入について考えは。

答 **市長** 厳しい経営状況は承知をしている。事業者の3密対策環境整備として間仕切り、換気扇等の設置補助、家賃補助などの支援金や、プレミアム商品券の発行など市内経済の活性化を図り、事業者の事業継続に向けた支援を行っている。国、県の動向を見ながら必要な支援を検討していく。

問 **唐澤稔議員** 事業所に感染防止対策を義務付ける伊那市独自の条例について考えは。

答 **市長** 全国的に見ても自治体の責務と住民の努力義務を規定した条例はあるが、事業所に感染防止設備の設置を義務付けるような条例はない。行政指導や罰則など制度を整えるのは極めて困難。3密対策環境整備支援金などを有効に活用して感染防止に努めていただきたい。

各種イベント、大会等開催について

問 **唐澤稔議員** 各種イベント、大会等開催についての対応は。

答 **市長** 春の高校伊那駅伝は現時点では開催に向けて準備を進めている。伊那まつりは東京五輪・パラリンピックの日程を考慮して準備を進めているが、開催の可否は伊那まつり実行委員会に委ねる。

ぐるっとタクシー稼働1年目の検証を次年度の拡大運用に生かすために

問 **野口輝雄議員** 1年目の稼働実績を次年度に生かすために次の点について明らかにしてほしい。①登録者数を増加させる手立て。②運転免許証返納者への増加に繋がったか。③今後のタクシーのコロナ対策について。

答 **市長** ①実利用者288人に対してウェブ予約が5.2%と少ないが、今後PRをし、さらにケーブル予約の普及促進をする。②前年度比較で3割の増加があった。③タクシーや運転手側の対策を徹底しながら予約者の乗車前の体調を確認する事や体調不良時は使わない等のお願いをしていく。

コロナ感染から日々子ども達を守っている保育士と放課後学童クラブの指導員に慰労金か特別手当等の支給ができないか

問 **野口輝雄議員** 保育士と指導員に市として慰労金等を出してほしい。

答 **市長** 職員には条例外の金銭は支給できない。ただし、国は感染リスクの高い作業を行う職員を特殊勤務手当の対象としたので、内容を参考に検討したい。

令和3年度予算編成方針について

問 **黒河内浩議員** 今年度の不用額や国からの臨時交付金を活用し、コロナ禍に苦

しむ市民支援、経済対策のために補正予算を組むべき。

答 **市長**　これまでも国からの交付金や財政調整基金を取り崩して対応してきたが、更に真に困っている市民、事業者に対して、あらゆる財源を駆使して状況に応じた適切な対応をしていきたい。

問 **黒河内浩議員**　来年度予算編成では歳入の減少が予想されることから、かなりの厳しさが予想されるが、財源確保は大丈夫か。

答 **市長**　収支を予測すると、合計で4億円超の財源不足になるものと想定している。

問 **黒河内浩議員**　来年度予算編成にあたっては、①コロナ対策、②アフターコロナを見据えた対策、③防災対策、の3点を重点にし、大型事業の先送りもやむを得ない。

答 **市長**　市としてコロナ対策予算に1億円の一般財源を見込み、また将来のために新産業技術、デジタル化を駆使した政策を進めていく。防災対策にも力を入れていく。ただ財源も考え、事業の廃止、縮小、先送りを視野に入れて来年度の予算編成をしていきたい。

ひとり親世帯支援の実情について

問 **宮原英幸議員**　ひとり親世帯支援での支援漏れ、及びコロナによる収入減少世帯への支援状況はどうか。

答 **市長**　児童扶養手当等は離婚等届出時に案内もし、漏れはないと考えるが申請しない家庭もある。申請570世帯で460世帯が受給しているが収入減少世帯追加支援の広報とともに、基準ぎりぎりで受給できてない世帯へは市独自支援も検討する。

東部中山間地区における新産業技術展開等について

問 **宮原英幸議員**　高遠地区防災ラジオの補助をどう考えているか。

答 **市長**　ケーブル契約せず残す場合の税抜きの基本工事代は2万4千円で、半額程度の補助を検討中である。

問 **宮原英幸議員**　ゆうあいマーケットの進め方はどのように考えているか。

答 **市長**　高齢者にも分かり易く、体験もできるようにした。集落支援員が訪問説明も行っている。

クマ対策について

問 **宮原英幸議員**　個体数調整の考えは。

答 **市長**　県と調整している。出没多発地は緩衝帯整備も進めたい。

冬期間の除雪・融雪剤散布作業について

問 **白鳥敏明議員**　他市町村同様に、除雪業者に除雪機械維持費の支払いの検討を。

答 **市長**　今後も除雪の業者数は、維持して行きたい。今年度単価は既に協議済であり、除雪機の維持費について実情を把握し、周辺市町村の状況も見ながら来年度に向け検討していきたい。

子育て世代支援策の一層の充実について

問 **白鳥敏明議員**　ママヘルプサービス産後12週で20回は短い。再考が必要では。

答 **市長**　諸事情に配慮し必要な場合は支援計画を作成し、次の育児支援サービスへつながるまで延長するなど柔軟に対応している。妊産婦に対する産後ケア事業体制も含め総合的に検討していきたい。

問 **白鳥敏明議員**　若年世帯支援の新婚新生活支援事業に取り組む考えは。

答 **市長**　対象者が限定的で効果が明確でない。結婚、出産や人口増、移住定住等長期的に効果がある施策を総合的に検討していきたい。

問 **白鳥敏明議員**　出産費用の自己負担額の2分の1、上限10万円程の補助制度の新設検討が出来ないか。

答 **市長**　国民健康保険補助制度の新設は、市独自の任意給付となり、県の国民健康保険料水準統一に逆行し出来ない。

伊那市公契約条例制定について

問 **宮島良夫議員**　「長野県の契約に関する取組方針」で契約に対して、長期的に良質なサービスの提供、地域を支える事業者や担い手の育成、労働賃金の適正な支払いなどの労働環境の整備、男女共同参画社会の推進などが求められてきた。伊那市でも公契約条件を制定するべきでは。

答 **市長**　現状では賃金の下限額を定める団体は23団体と少ない状況。又、条例新設も全国で年間3団体と少なく長野県でも長野市だけで他に動きがない。他団体の動きを見ながら情報収集を行っている。現段階では条例制定の考えはない。

総務部長　千葉県野田市が制定して以降十年が経過している。全国で条例制定している団体は57団体となっていて大きな広がりになっていない。

問 **宮島良夫議員**　公契約条例制定について課題が

あると答弁したが、どのような課題があるのか。

答 **市長**　法的な課題では最低賃金法と独占禁止法、地方自治法の課題がある。事業者の課題では、賃金台帳の作成や、下請関係の報告書の作成、立入検査の対応などで業務量が増加することが経営に影響するなどの課題がある。

原垣外遺跡について

問 **柴満喜夫議員**　原垣外遺跡の遺跡名は字名に基づいて勧前遺跡とすべきでは。

答 **教育長**　市内には425か所の遺跡がある。遺跡の名称は地域に親しみがある地名や地形などが使われており、昭和46年ごろに教育委員会で整理したもの。今回の遺跡の所在地については市教育委員会が発行した伊那市の小字名と現在の遺跡地図を照合し、観前という小字名と確認した。県教育委員会にも名称変更の手続きを行った。

問 **柴満喜夫議員**　原垣外遺跡を遺跡公園として整備する考えは。

答 **教育長**　遺跡には所有者があり、それぞれ目的を持った開発行為が行われることから、現状のまま残すことは困難であり、遺跡公園として残す予定はない。調査結果をまとめ、市創造館で企画展示などを計画していきたい。

新型コロナウイルス感染症について

問 **柴満喜夫議員**　今後年末年始に向けて、新型コロナウイルス感染予防対策をどの様に取られていくのか。

答 **市長**　現在、第3波ということを大変緊張感をもって対応している。大変厳しい状況下のなか医療従事者の皆様には懸命に治療にあたっていただいている。医療崩壊、社会崩壊にならないよう、8市町村首長によりメッセージを出す予定。事業者、飲食業者、市民の皆様は、ガイドラインにそって対応してほしい。

伊那市新産業技術推進事業について

問 **柴満喜夫議員**　今日まで大きな成果を上げてきた新産業技術推進事業に、今後、どの様に取り組んでいくのか。

答 **市長**　市民が社会とのつながりや喜びを実感できるよう取り組んでいく。

問 **柴満喜夫議員**　事業費については。

答 **市長**　基本的には市費の持ち出しはしない。国の交付金、交付税等で取り組んでいく。事業費の95％を国の交付金、交付税で賄う。また、民間企業に100％の助成をいただいている事業もある。

伊那市の玄関口である伊那市駅を考える

問 **二瓶裕史議員**　①伊那市駅周辺の整備等、将来構想は。②駅構内を有効活用できないか。③駅舎の雰囲気を残したまま、ARやVR等の先進技術と融合させた新しい駅づくりはどうか。④発車メロディを「伊那市の歌」に。再度JR東海と交渉しては。

答 **市長**　①権利関係が難しいが、優良建築物等の整備事業を考えながらまちづくりを行うことは可能。策を練り進めていきたい。②山岳登山を標榜するからには写真やポスターをこまめに変える必要がある。桜やバラの時期にも、それぞれ写真等を展示するなど、考えていきたい。③アプリを開発して情報を詰め込んでいけばかなりのものができる。参考にしたい。④思いは同じ。課題はあるが折につけて話をしている。今後もトライしていきたい。

テレワークの推進について

問 **二瓶裕史議員**　①内部決済に係る押印廃止の考えは。②テレワーク手当の導入を考えては。

答 **市長**　①必要のないものは廃止する方向で整理をしている。さらに進めていきたい。②現状としては考えていない。

児童虐待、DVの相談事業について

問 **前田久子議員**　児童虐待急増の対策として①発生予防、早期発見。②発生時の迅速的確な対応のため児童相談所設置の推進は。③親と暮らせない子供を愛情深く育てる里親制度促進を。④DVと児童虐待解決はまず本人が声を上げる事。電話相談一覧表が公的施設トイレにあるが目につく商業施設にも。

答 **市長**　②児童相談所を上伊那へと教育7団体からの声もあり上伊那市町村長と具体的に強く要望していく。③本年2組申し込みがあり現在9組、来年子育て短期支援事業を里親に委託する。④県から百枚配布されているが追加の要望と配置先の検討をしていきたい。

教育長　①虐待は半年で昨年1年分とほぼ同数の63件、被虐待児102人、相談は529件。子ども家庭総合支援拠点を設置

し職員を増員して当たっている。

今年度の予算執行状況と令和3年度予算編成方針について

問 **田畑正敏議員**　新型コロナウイルス対策の補正予算総額約99億65百万円のうち国、県の補助金及び伊那市一般財源の規模は。

答 **総務部長**　85％は国・県の補助金、残りの3％・約3億円に市の一般財源を充て、その内1.5億円は財政調整基金（貯金）を活用した。

問 **田畑正敏議員**　令和3年度の減収見込6億円の穴埋めとしてふるさと納税の積極的取組を提案するが。

答 **市長**　新しい返礼品の掘り起こし、サイトを使ったPR等、担当職員あげて更に対応していく。

コロナ禍における高齢者への福祉事業支援について

問 **田畑正敏議員**　今年度の特例として高齢者いきいき健康券の次年度への繰り越しを認められないか。

答 **保健福祉部長**　繰り越しは利用者、指定事業者の混乱を招く等のおそれがあるので考えていない。

問 **田畑正敏議員**　地域社協が実施している福祉入浴費用が今後一人当り2700円になる。今迄との差額1200円もしくはその一部でも市が補助出来ないか。

答 **市長**　いきいき健康券を、福祉入浴への参加時に利用する飲食等の施設も対象とするよう検討する。

スマート農業実証試験から目指すことについて

問 **唐澤千明議員**　畑作農業でも実証試験が行われ意義深い。スマート農業の畑作への取組状況は。

答 **農林部参事**　今年度から3年間、地方創生交付金を使って露地野菜等の一貫体系によるスマート農業の実証試験を始めている。ねぎの自動収穫機、選別機、結束機、また自動操舵トラクターの導入を終え、検証を始めている。併せて、アスパラガスの自動収穫機の開発を進めている。

大萱市営住宅団地の跡地利用について

問 **唐澤千明議員**　大萱市営住宅の入居者は、隣の大萱県営住宅建て替えに伴いほとんどが転居する。順次解体され更地になっていくが、この団地の跡地利用の考えは。

答 **市長**　産学官連携拠点施設の整備を検討している。施設整備以外の跡地は入居者の移転後に除却を行い、産学官連携拠点施設と調和の取れた企業や宅地分譲を考えている。信州大学や全国の民間企業と連携し、農業、食品産業、林業、木材産業に関わる多様な人材が集まることで仕事の創出と働く場につなげていきたい。

コロナ禍での人口減少対策とまちづくりについて

問 **小林眞由美議員**　コロナ禍でも安心して妊娠できる環境づくりと妊婦の健康を守る体制づくりを。

答 **市長**　全妊婦に対する妊婦相談では、コロナ流行下における支援事業の紹介、保健指導を実施。両親学級や出産応援セミナーでは、出産の具体的な準備、産後の支援サービスの説明など、個別相談できる体制をとっている。今後も必要に応じて支援していく。

問 **小林眞由美議員**　子どもを産むのに市の安心できる体制としての医療機関・助産師会等の団体や地域との連携は。

答 **市長**　県助産師会に無料オンライン相談を委託、市内助産師へは対面指導に備え感染防止備品の配布を行っている。また、市の保健師によるオンライン相談体制の準備もしている。

問 **小林眞由美議員**　市の魅力や新産業技術推進事業の具体的な施策の取組状況を市内外にバーチャル的発信をするなど、今後のまちづくりについての考えは。

答 **市長**　新産業推進協のアメニティ定住部会の戦略的なシティプロモーション、VRやラインアプリでの情報発信、オンライン移住セミナーなど若い世代が将来にわたり暮らし続けられる環境の整備として取り組み、行政と市民一緒に先を見ながら高度な取組を進化させていきたい。

コロナ禍のもとでの避難マイタイムラインについて

問 **飯島光豊員**　①時系列での災害避難マイタイムラインシートの全戸配布を。②マイタイムラインを取り入れた市の防災総合訓練の実施を。

答 **市長**　①マイタイムラインの作成方法等を市ホームページで紹介する。②市防災訓練は6月開催を検討している。

マイタイムラインの訓練も検討する。

コロナ禍のもとでの避難所・避難先について

問 **飯島光豊議員**　①コロナ禍の中での避難所開設訓練を。②避難所のレイアウトの変更は。③雑魚寝をやめて段ボールベッドに。

答 **危機管理監**　①6月に避難所開設訓練を実施。②健常者家族は2m間隔。体調不良者、高齢者や子どもをお持ちの要配慮者にはパーテーションやテントですごしていただく。③ベッドは200台用意。

コロナ対策予算第7弾農家への支援（No.9）について

問 **飯島光豊員**　①減収の対象者は農水省の持続化給付金の計算方式と同じか。②申請が増えたら予算も増やすのか。

答 **市長**　①国同様で昨年収入を12で割った月額が30％以上50％未満の農家。**総務部長**　②補正予算等を講じて支給する。

私立の保育園や幼稚園のコロナ対策費用負担について

問 **馬場毅議員**　私立の保育園や幼稚園が、冬場の暖房と換気を同時に行うことで増える燃料代について、何らかの補助があるか。

答 **市長**　私立の保育園幼稚園には公定価格で冷暖房費の加算が設けられている。国の基準によって電気料燃料費が賄われているので、現時点ではさらにこれに加算をしての補助は考えていない。

市民も市内業者も一緒に冬を越すために

問 **馬場毅議員**　冬場のコロナ感染予防策の一環である換気推奨のために全家庭と、大変苦しい経営状況の市内全ての事業者に暖房費の補助を求める。

答 **市長**　現状では全家庭全事業者に対してコロナ対策を。その中で暖房費の補助だけに絞って行うのではなく、必要な事業者、必要な方に支援が行えるように状況を常に注視しながら対応を柔軟に取っていきたい。

鹿嶺高原について

問 **池上直彦議員**　鹿嶺高原の水源と森林整備についての考えは。

答 **市長**　鹿嶺高原周辺の市有林整備について、ミズナラ等を計画的に植栽し、災害防止や水源涵養等森林の多目的機能の向上を図り、鹿嶺高原の水源確保につながる森林整備を進めていきたい。

問 **池上直彦議員**　鹿嶺高原の環境整備とテラスの設置についての考えは。

答 **市長**　天空のキャンプ場として人気の場所であり、地域振興に直結した仕組みづくりを早急に行う。雷鳥荘西側に展望テラスを造る提案もあり、自然環境に配慮し様々な可能性を検討したい。

仙流荘の営業再開などについて

問 **池上直彦議員**　仙流荘の再開時期と来年まで営業を再開出来ない理由及び再開後の営業方針等について。

答 **市長**　いろいろ研究、検討を行ってきた結果、冬季間の営業は収益が見込めないという結論に至った。仙流荘は南アルプスの長野県側の玄関口であり、山岳シーズンと連動した営業が最も効率が良い。南アルプス林道バスや山小屋の営業に合わせて来年5月頃に営業再開を予定している。

コロナ禍の中の医療体制、経済対策と支援について

問 **原一馬議員**　今後の地域経済の見通しと経済対策について。

答 **市長**　コロナの影響により、飲食、運輸関係、旅行業などは大きな打撃を受け、先の見えない状況。そうしたところに柔軟に対応できる体制をとっていく。社会の変化に応じた事業者の取組をよく見ながら、必要な支援策、経済の活性化、再興に向けて取り組んでいく。

問 **原一馬議員**　不況に対して、基金も活用するこの数年間の予算配分について。

答 **市長**　伊那市の財政について、市職員の努力、市民の協力によって市の借金を減らし、基金を積み増してきた。不況に対しては、経済、感染の状況に合った対策が必要。予算規模も異なってくる。景気悪化によって大幅な減収が見込まれるが、必要なコロナ対策の財源が不足する場合は、迅速に基金を活用していく。

東部中学校の雨水排水の問題について

問 **原一馬議員**　東部中学校の雨水排水の問題について。

答 **教育次長**　昭和39年に校舎が完成して以来、当時の基準で設置した排水施設が使われてきた。現状を解決する方法を具体的に検討している。

感染者ならびにその周辺者のケアについて

問 **三澤俊明議員**　伊那市で取り組んでいるシトラスリボンプロジェクトについて。

答 **企画部長**　感染症への差別根絶にむけて愛媛県から始まった取組であり、伊那市も賛同して参加している。シトラス色のリボンは三つの輪で構成されており、「地域・家庭・職場（学校）」を表現してデザインされている。今後この取組を多くの市民の皆さんにも広げて行きたい。

体育施設利用料金の見直しについて

問 **三澤俊明議員**　コロナ禍の中での体力増進のため、体育施設の利用料金を下げたらどうか。

答 **市長**　現在の利用料金は県内の他市と比べても高くない。受益者負担はある程度必要である。伊那市の施設には市民の税金が使われているので、伊那市民と市外者の利用では差をつけている。合宿利用の取り扱いは伊那市内に宿泊する事によって、市民と同じ料金としている。

東部中学校の校舎敷地の排水改善について

問 **柳川広美議員**　体育館の東側壁面内部まで水漏れがして、豪雨の際も体育館入り口が使えなかった。敷地の排水設備の抜本的な改修を。避難所になる東部中のグラウンドの排水改善を。

答 **教育次長**　排水の暗渠が詰まったのが原因。専門家の意見も聞いて更なる対策を講じる。グラウンドの排水工事は考えていない。

今後3年間の介護保険と高齢者福祉施策について

問 **柳川広美議員**　①介護保険料はいくらになるのか。②施設整備計画は。③虚弱高齢者の外出支援として補聴器の補助や、眼鏡購入や目の手術の支援、目の健診の無料化などが必要では。

答 **市長**　①できるだけ介護保険料を上げない方向で考えている。③外出支援にいきいき健康券の用途拡大や、ぐるっとタクシーの範囲拡大、難聴者の補聴器購入への補助等を考えている。**保健福祉部長**　②地域密着型特別養護老人ホーム整備を考えている。

ヤングケアラー、市の対応と小中学校の実態調査について

問 **松澤嘉議員**　ヤングケアラー、市の対応と小中学校の実態調査について。

答 **教育長**　支援が必要な児童・生徒については児童相談所、小中学校、市関係部署、民間団体等と定期的な会議を持ち支援する生徒の把握はしている。定期的な会議の他、地域の方からの情報も大切に面接等で確認しながら適切な支援をしていきたい。

問 **松澤嘉議員**　生徒へのSNS教育は。

答 **市長**　人権同和教育の中のメニューに入れている。年齢、学年に応じたインターネット教育に取り組み、ネットトラブル相談者による親に対する講演会も開催した。

問 **松澤嘉議員**　ひとり親家庭へのさらなる追加支援が出来ないか。

答 **市長**　市の支援で一人2万円、国の支援では一人目5万円、二人目以降3万円の追加支援が行われる事になる。今回クリスマスに合わせてひとり親家庭に追加給付が出来るようにした。今回はひとり親家庭だけの対応となったが、他にも真に苦しんでいる市民がいるのではないかと思っている。庁内での情報収集に努め、今後の課題として問題意識を持って検討していかないといけない。

お知らせ

請願・陳情

請願・陳情は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日正午までに提出されたものを、その定例会で原則審査します。

ご提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、審査報告の後、本会議で採決します。

次回3月定例会審査の受理期限は、2月18日正午です。（期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。）

傍聴にお越しください

12月定例市議会は、25人の方が傍聴されました。議会では、コロナ対策をとり傍聴していただいています。ご理解ご協力をお願いします。

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。再放送も行っていますので是非ご覧ください。

チャンネルは次のとおり。

デジタル　11チャンネル

STB（デジタルチューナー）でご覧になる場合は

デジタルC 511チャンネル

QRコードについて

議員の写真下にあるQRコードを読み取ると、一般質問の動画が閲覧できます。ご活用ください。

*「QRコード」は㈱デンソーウェーブの登録商標です。

次回3月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」3月号をご覧ください。

＼伊那市議会の／
活動紹介
市議会議員の
活動をお知らせします！

中学生キャリアフェス2020 オンラインで参加

11月12日今年度の中学生キャリアフェスは、コロナ禍のため、急遽オンライン開催となりました。参加した議員の感想を紹介します。

オンラインキャリアフェス

市議会議員を将来の職業の選択肢にしてもらいたい、伊那市議会の魅力を伝えたい、という思いで伊那市の全中学校2年生を対象としたキャリアフェスに参加しました。

2回目の今年は昨年の経験を踏まえて、市議会を少しでもわかりやすく伝えようと準備しました。オンライン開催になったことにより参加企業は4割ほど減り、開催2日前の打ち合わせでは、オンラインに不慣れな議員ではよいパフォーマンスができないのでは、と不安な空気がありました。

伊那市議会は4年前からタブレット端末を導入していて、今年はコロナの影響もあり、初のオンラインによる委員会を開催しました。そのような経過や「開かれた議会の魅力を発信しましょう！」との意見もあり、こういった機会に議会もチャレンジすべきと、議員に配布されているタブレットで参加することになりました。

しかし今は、地方議員は全国的になり手不足。中学2年生はまだ行政や政治などの「公民」を学んでいません。

訪問者はあまりいないのでは、と心配していたところ、6時限のうち5時限に複数の生徒が参加してくれました。多くの生徒が伊那市議会のブースに興味を持ってくれたことに感激しました。

1時限を3人の議員が受け持ち、数人ずつやりとりをしました。フランクなコミュニケーションになるよう意識して、議員はこんな人がやっているんだよ、と自己紹介したり、タブレットに市民と議会、市長の関係の図を映し、わかりやすい説明になるよう努力しました。生徒たちからも発言を引き出そうと工夫しました。少しでも私たちの熱意が伝わっていたらいいなと思います。

オンラインでのやり取り

オンラインでも対面と変わりないやりとりができ、次回につながる取組となりました。

（文責：原 一馬）

キャリアフェスに参加して

昨年度より伊那市議会はキャリアフェスに参加し、議会の仕事を理解してもらうこと、また若者の選挙に対する意識の向上を図ってきました。

今年も参加すべく数回の会議を開き進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、実施困難となり、オンラインでの開催となりました。

当日、司会進行を任された私は、楽しく、分かりやすくを目標に司会を務めました。

分担された時刻に、議員3人、2校から3人の参加者でオンラインキャリアフェスは始まりました。

冒頭、自己紹介を通して和やかな雰囲気のもとに始まり、最初に議会での議員の仕事について参加議員から説明を行いました。

生徒からは、議員の印象は「頭が良くて、お金があって、むずかしい仕事をしている」という様な感想がありました。

そこで私は「議員という仕事はお金がなくても、学歴がなくても、資格がなくても、満25歳になれば誰でも立候補できるんだよ。でも、ひとつ必要なものがあるんだけど、なんだか分かるかな？」と聞きました。

しばらく考え込んでいる生徒たちに「それは信頼なんだよ。」と教えました。「今から信頼を得るためにはどのような行動をしたらいいか考えておいてね。」と話しました。

その後、生徒たちが熱中している事や将来の夢などを発表してもらい、議員からは、「伊那市を好きになって、将来は伊那市に戻ってきてほしい。選挙権を持ったら必ず投票に行ってほしい」等のお願いをして和やかに終わりました。

オンラインによるキャリアフェスとなりましたが、十分にその目的は達成できたと思います。

（文責：野口 輝雄）

「取説」ってどんなことが載ってるんだろう？議会ってなんだか難しそう・・・

伊那市議会 取扱説明書

内容

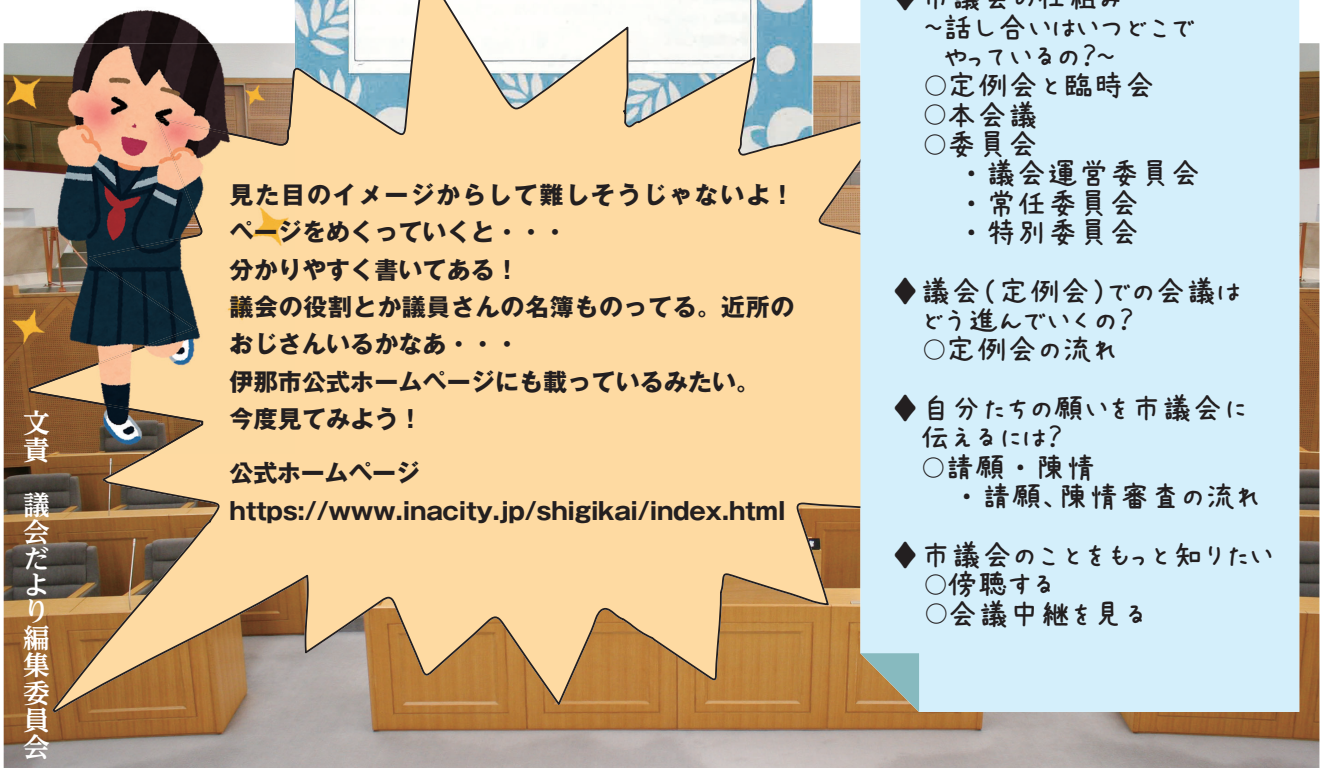
◆市議会ってなんだろう？
◆市議会の仕事（権限）
◆市長と議会
◆市議会議員ってどんな人？

◆市議会の仕組み
～話し合いはいつどこでやっているの?～
○定例会と臨時会
○本会議
○委員会
・議会運営委員会
・常任委員会
・特別委員会

◆議会（定例会）での会議はどう進んでいくの？
○定例会の流れ

◆自分たちの願いを市議会に伝えるには？
○請願・陳情
・請願、陳情審査の流れ

◆市議会のことをもっと知りたい
○傍聴する
○会議中継を見る



見た目のイメージからして難しそうじゃないよ！
ページをめくっていくと・・・
分かりやすく書いてある！
議会の役割とか議員さんの名簿ものってる。近所のおじさんいるかなあ・・・
伊那市公式ホームページにも載っているみたい。
今度見てみよう！

公式ホームページ
https://www.inacity.jp/shigikai/index.html

文責　議会だより編集委員会